

中国影絵

ユネスコ世界無形文化遺産の伝承者

路連達 / 演出 2017.7月

上海花影社

日本の皆さんに中国の古き良き伝統民芸を楽しんでもらうため、上海から影絵劇団がやってきます！日本ではなかなか観られない本場の中国影絵をぜひご覧ください。

影絵・美術 / 路連達

色あざやかな光と影が動き出す！



友の会入会受付中！！



イベントホームページ

最新情報はこちらから

<https://chugoku-kagee2017.jimdo.com>

《お問合せ》 chugoku.kagee@gmail.com

《主催》 中国影絵を招く友の会 / 上海虹文庫

《後援》 日中児童文学美術交流センター / 一般財団法人文民教育協会 子どもの文化研究所
(株) 童心社 / 子どもの本研究 <ぐるんぱ> の会



《演目》

- ・ 北京の路地の一日
- ・ 獅子舞
- ・ 亀と鶴
- ・ ねずみの嫁入り
- ・ 漁夫の利
- ・ 金の斧・銀の斧

から複数の演目を予定しています。

〈一般公演予定〉

- 7月16日(日) 13:30 開場 鎌倉市中央図書館
7月17日(月祝) 10:00 開場 横浜市立中央図書館
7月22日(土) 13:00 開場 子どもの文化研究所(東京)



亀と鶴

のろまな亀のおちついた知恵。美しい鶴のうぬぼれ・・・中国水墨画の、「意と境」融合の世界がくりひろげられます。若き路連達が、毛沢東主席、周恩来総理の前で演じた演目です。



ねずみの嫁入り

中国民話。正月三日は、ねずみが嫁をもらう日。中国各地に同じような言い伝えがあり、歌や芸能、正月の飾り絵、切り絵などさまざまな民衆文化があります。この影絵は、切り絵芸術と融合した演目です。

一般公演のお申込はホームページへ >>
<https://chugoku-kagee2017.jimdo.com/>

《出演者》



しゃんはいかえいしゃ

上海花影社

上海在住の日中のお母さんボランティアにより結成されたアマチュア影絵劇団。後世に影絵をしっかりと伝承することに力を尽くし、より多くの子供たちに自分の目でこの古き良き伝統民芸を楽しんで見てもらうことを目的として勉強を続け、活動しています。2013年5月から現在に至るまで、60余りの学校・幼稚園・公演会場等で計80余回、もうすでに1万人以上の観客に影絵を実演してきました。総顧問：路連達先生。



ろ れんたつ

路 連達 / 演出

中国伝統民芸、影絵の第一人者、路(ルー)家影絵——旧王家影絵劇団の六代目継承人であり、世界無形文化遺産中国影絵の貴重な伝承者でもあります。

1957年には毛沢東主席たちの前で、伝統的影絵劇『亀と鶴』『蛤と鷺の争い(漁夫の利)』を演じ、欧米などへの海外公演ツアーも行ってきました。1988-90年には1年半にわたる日本ツアーを行い、北海道から沖縄まで「孫悟空」の影絵を計500回以上も演じました。



かげえし さくら

影絵師 SAKURA(賛助出演)

女子美術大学日本画専攻卒業。2001年頃から影絵アーティスト SAKURA として活動。

音楽、映像、ダンスなどのアーティストと立ち上げたユニット、

『影絵パフォーマンス Ambivalent』として各地で公演を展開。

また、中国影絵の様式を取り入れた1人影絵パフォーマンス『影絵屋さん SAKURA』として、幼稚園、保育園、その他イベントに多数出演。様々なアーティストとのコラボにも積極的に取り組んでいる。2008年北京にて路連達氏に中国伝統影絵を師事。